

# 住友ゴム工業（株）加古川工場

## 環境保全対策実施報告書

令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)に実施しました環境保全対策及び令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)の環境保全活動計画は次の通りです。

### 1. 環境保全対策実施状況（令和5年度）

#### (1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア：ボイラーの定期整備 イ：排ガスの定期測定 ウ：オンライン24時間監視システム エ：メンテナンス契約(メーカ点検・整備等)	・ボイラーメーカーとの24時間監視システムによる運転管理と定期整備により、ボイラーの適正な運転を継続することができました。
★ ②省エネ改善活動の推進 ア：省エネ委員会の活動 イ：蒸気、エア、熱の漏れ箇所調査及び修理 ウ：生産性向上活動 エ：工場内照明のLED化推進 オ：空調機更新（4台）および既設空調機（12台）へ添加剤を注入し電力削減 カ：蒸気トラップメーカーによる漏れ診断	・令和5年度はトータルで、当工場で生産する商材が一部減産となりましたが、省エネ活動を推進してきた結果、エネルギーの使用効率向上効果を得ることになり、エネルギー原単位は対前年比で1.65%の良化となりました。 ・令和6年度も継続して省エネ活動を行います。現時点において、主力製品の大幅な減産により3月末時点でエネルギー原単位は対前年比で約6%程度悪化しています。これを挽回すべく省エネ活動の継続と更なる活性化に努めます。  *エネルギー原単位：単位生産量当りのエネルギー使用量  エ：蛍光灯268灯をLEDへ更新しました。 オ：空調機4台を省エネタイプへ更新および既設空調機・チラー装置12台のコンプレッサーに添加剤を注入し、フリクション低減による電力削減を図りました。 

(2) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
①騒音発生源対策及び保安員による工場 周辺パトロールの継続	・工場敷地境界における騒音は、規制値内に あります。 (騒音測定地点は、最終頁を参照下さい)
②騒音削減対策 ア:蒸気主配管のウォーターハンマー低減 対策	

(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
①定期測定時にパトロールを実施し、日常の 管理を強化。また発生源対策として、溶剤 系材料の使用量削減に取り組む。	・工場敷地境界における悪臭等は、規制値内 にあります。

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
①廃棄物の分別およびリサイクルの推進	・廃棄物の徹底した分別と製品の仕損を 削減し、ゼロエミッションを継続して います。
②化学物質対策	・新規化学物質登録により、新規使用開始前 に化学物質リスクアセスメント実施を 徹底しました。

(5) 緑化に係る対策

①工場敷地内の緑化の維持管理	・絶滅危惧種(フジバカマ)の育成管理と加 古川河川敷への移植活動を継続し、緑化 環境の維持向上に努めました。
②近隣諸学校への株分け	・近隣小学校へ環境保全活動の大切さに ついて出張授業を行いました。 

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①加古川工業団地連絡協議会	・新型コロナ5類変更後の企業活動

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・令和5年10月維持審査完了しました。 継続的に環境改善に取り組んで参ります。
② 環境内部監査	・令和5年12月内部監査実施しました。

2. 協定値と実績値の比較

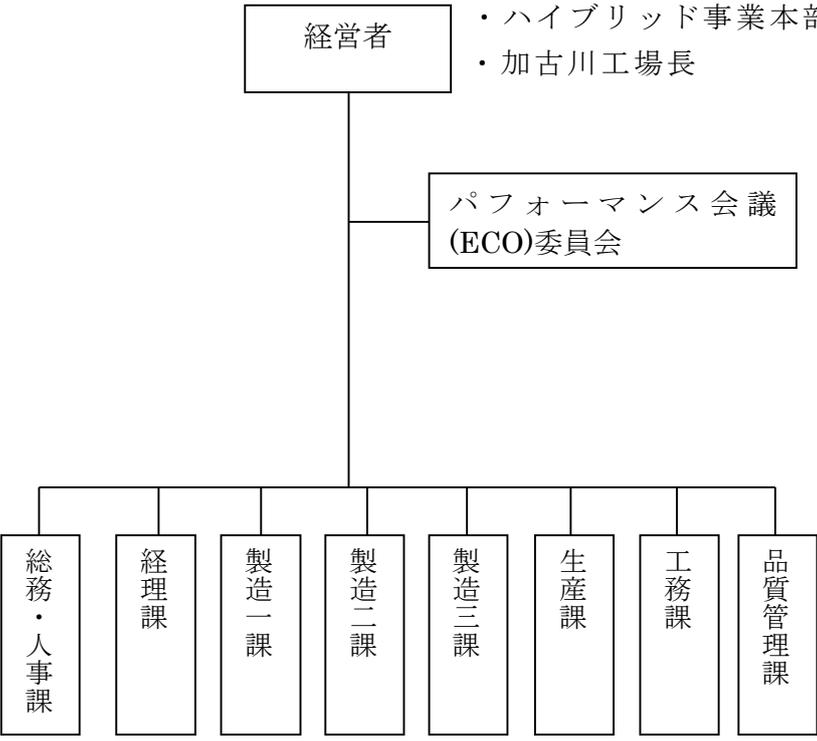
(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm <sup>3</sup> /時)	0.7	0.5
	(t/年)	8.6	4.0

### 3. 環境保全活動

#### (1) 令和6年度基本方針

項目	内容
基本方針	<p>住友ゴムグループの「将来のあるべき姿」として、【持続可能な社会の実現に貢献出来る企業】を目指し、2050年迄に製造拠点のカーボンニュートラルを目指します (SCOPE 1, 2)</p> <p>(住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部環境方針抜粋)</p>
組織体制	 <pre> graph TD     Manager[経営者] --- Performance[パフォーマンス会議&lt;br/&gt;(ECO)委員会]     Manager --- HR[総務・人事課]     Manager --- Sales[経理課]     Manager --- Mfg1[製造一課]     Manager --- Mfg2[製造二課]     Manager --- Mfg3[製造三課]     Manager --- Production[生産課]     Manager --- Works[工務課]     Manager --- Quality[品質管理課]                     </pre> <p>経営者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッド事業本部長</li> <li>・加古川工場長</li> </ul> <p>パフォーマンス会議 (ECO)委員会</p> <p>総務・人事課</p> <p>経理課</p> <p>製造一課</p> <p>製造二課</p> <p>製造三課</p> <p>生産課</p> <p>工務課</p> <p>品質管理課</p>

(2) 令和6年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質の管理とそれによる使用量削減</li> </ul>	①化学物質の管理による使用量削減を行います。 新規化学物質登録により、新規使用開始前に化学物質リスクアセスメント実施を徹底します。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令及び協定の順守</li> <li>エネルギー原単位対前年1%削減</li> </ul>	①製造工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善に努めます。 ②工場設備で発生する蒸気ドレンを回収し有効利用する等、省エネをさらに進めます。 ③保温強化および迅速な漏れ補修を行い、配管の直管化を進めていきます。 ④老朽化した空調機5台を高効率タイプに更新、また既設空調機20台のコンプレッサーへ添加剤を注入し消費電力削減を図る計画です。
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令の順守</li> <li>廃棄物発生率(有価除く)対前年3%削減</li> </ul>	①製品の仕損を減少させて廃棄物発生量の削減に努め、また引続きゼロエミッションを継続します。
不法投棄に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令の順守</li> </ul>	①産廃業者への監査実施 ②産廃マニフェストの運用
緑化に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑地の維持管理</li> <li>近隣企業・地域との連携</li> </ul>	①どんぐりプロジェクトの推進。 ②生物多様性保全活動拡大として「フジバカマ」「ナガボテンツキ」「ナガボノワレモコウ」等の絶滅危惧種となっている植物育成を継続実施します。 ③近隣小学校様へのフジバカマ育成のフォローを行います。
悪臭対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令及び協定の順守</li> </ul>	①環境測定時のデータを基に日常管理強化に努めます。また、発生源対策として、溶剤の使用量削減と水系化の転換を進めます。
土壌汚染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令及び協定の順守</li> </ul>	①当該区域の定期測定を行い、モニタリングを継続します。
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムの運用と推進</li> </ul>	①ISO14001環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図っていきます。

地域社会への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域児童への支援</li> </ul>	①NPO 法人 One Heart のサポート (子ども食堂への支援)
周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等の事態に係る情報を広く市民に周知する。</li> </ul>	①関係官庁へ迅速な報告を実施すると共に、加古川市のホームページ、防災メール、X(旧ツイッター)等を通じ広く情報発信を行います。

添付資料：工場配置図及び騒音測定場所

